

## 2309 シミックホールディングス 株式会社

新型コロナウイルス感染拡大が与える影響とは？

IMPACT REPORT

本レポートを構成する新型コロナ関連分析結果

# 大手経済メディアへ分析データ提供多数

週刊エコノミスト 大型特集10ページ掲載6/1発売号

日本経済新聞、ITメディア、ダイヤモンドオンライン他

## 新型コロナ関連レポート累計1万ダウンロード突破！

特許取得済み自然言語処理技術  
膨大なニュースから解析を可能に

大手金融機関、事業法人を中心に  
100社以上にサービスを展開

MUFGアクセラレータプログラム  
グランプリ企業

# 目次

## シミックホールディングスへの影響予測

1. 新型コロナウイルス影響サマリー
2. シナリオ分析（エリア別）
3. サプライチェーン影響予測
  - 仕入先企業への影響予測
  - 得意先企業への影響予測
4. AI決算コメント
5. 競合企業決算分析
6. 業績要因一覧
7. 企業基本情報

シミックホールディングス  
シナリオ影響スコア合計

135.76

大幅増益の可能性

当企業は、業績にポジティブな影響を与えるシナリオが非常に顕著にみられ、業績が大幅に伸張する可能性が高いといえます。

シミックホールディングス  
シナリオ影響スコア合計

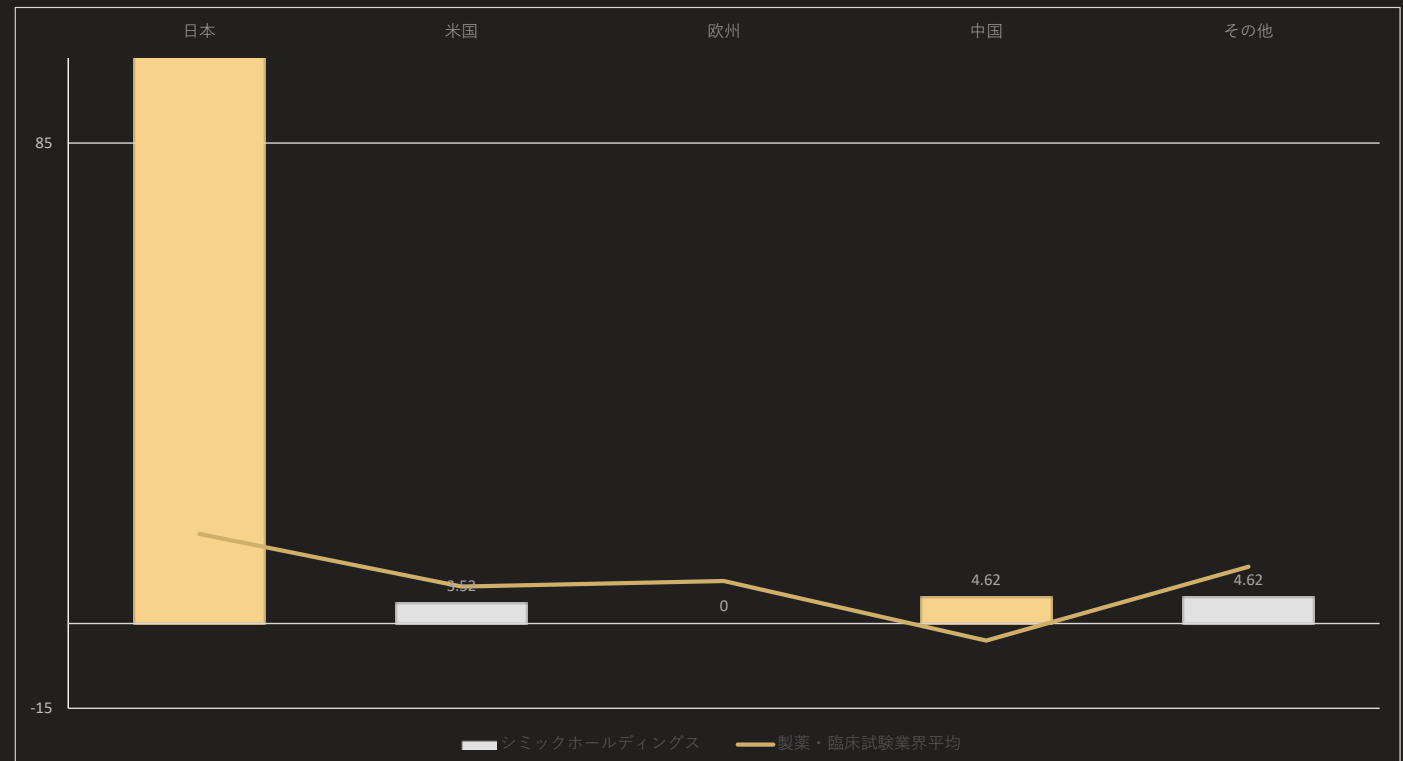
135.76

製薬・臨床試験  
業界平均

24.94

-100      -30      0      +30      +100  
大幅減益      減益      影響軽微      増益      大幅増益  
(-30%以上)      (-10%以上)      (+10%以上)      (+30%以上)

感染拡大エリア別シミックホールディングスへの影響



シミックホールディングス  
シナリオ影響平均時間軸

5.9ヵ月

本格的な影響はこれから

上記期間は、影響するシナリオ全体の時間軸を平均した期間で、全体として上記期間前後を中心に業績に顕在化することを意味します（2020年3月1日を感染拡大の初日として計算）。当企業では業績影響はこれから本格化していくことが想定されます。

シミックホールディングス  
シナリオ影響平均時間軸

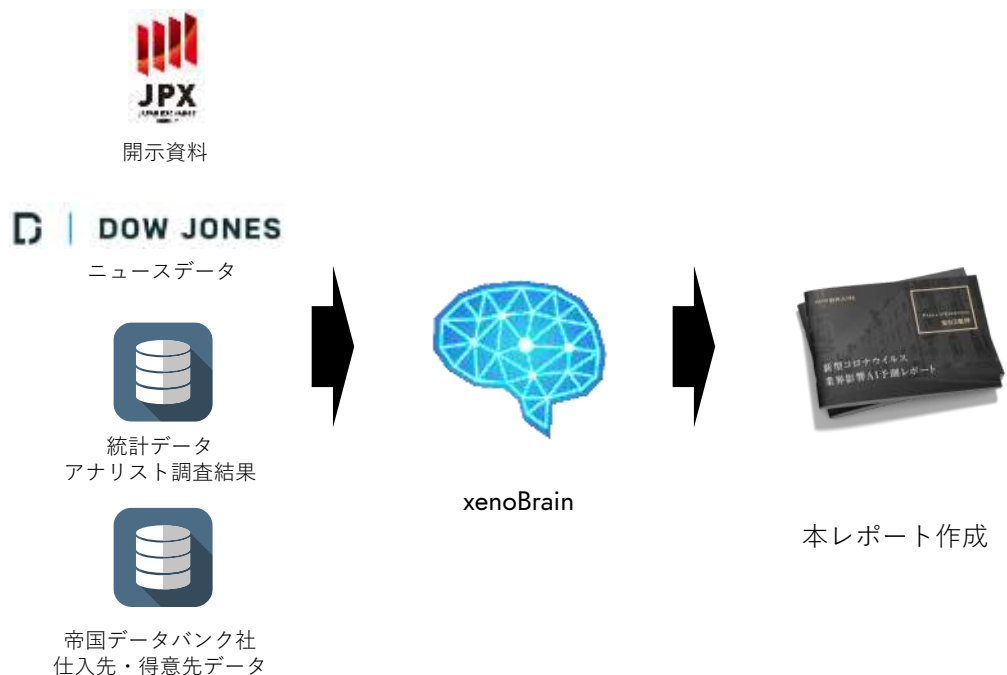


シミックホールディングスへの影響時間軸

	シミックホールディングス	シミックホールディングス 仕入先業界平均	シミックホールディングス 得意先業界平均	製薬・臨床試験業界
短期 (~3か月以内に業績影響)	-3.68%	-	-	66.26%
中期 (3か月~1年以内に業績影響)	103.68%	-	-	33.7%
長期 (1年超後に業績影響)	0%	-	-	0.04%
シナリオ影響 平均時間軸	5.9ヵ月	-	-	3.4ヵ月

# 本レポート上で掲載するスコアについて

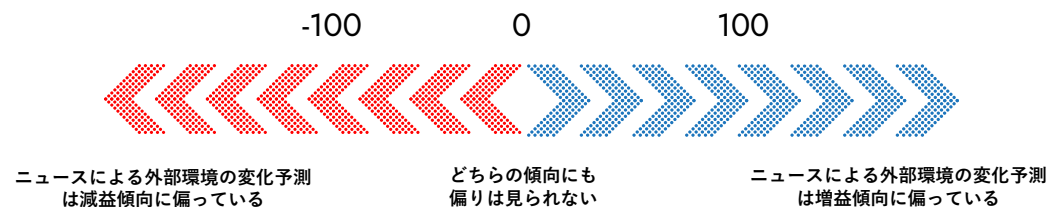
## スコア生成方法について



本資料のスコアはxenodata lab.社独自のAIによる解析及びアナリストの独自調査によりデータを抽出し、その抽出結果をシステムにより自動で計算しております。  
その基となっているデータは以下の4つとなります。

- ①ニュースデータ（ダウ・ジョーンズ社から提供を受ける国内約100社の経済メディアのニュース記事データ）
- ②開示資料（有価証券報告書、決算短信及び決算説明会資料に含まれる数値及び文章）
- ③統計データ（様々な団体から発表、公開されている統計データ）
- ④帝国データバンク社から提供を受けた、仕入先、得意先データ

## スコアの見方について



本資料上の企業ごとのスコアは、特定のニュースが発生した場合に、現時点でxenoBrain上でインプットされているすべてのシナリオの影響を計算したスコアです。  
また、本資料におけるスコアは、スコアの絶対値が大きければ大きいほど、将来業績に影響を与える可能性が高いと判断していることを意味します。また、0に近ければ近いほど実際に業績に影響する可能性が低いと判断していることを意味します。

### ※スコアを見るうえでの留意点

#### <情報の網羅性・正確性>

本資料のスコア計算に必要な情報の網羅性については鋭意努力しておりますが、インサイダー情報や市場の暗黙知など文字情報に落ちていないナレッジ、今後企業が行う対策などの企業努力や競争力は一切考慮できておりません。また、大量の企業についての予測を行うために公開されている情報を基に様々な前提をおいた自動処理が含まれており、十分な情報と時間を基にした調査を行ったアナリストと同じ見解にならない可能性もございます。  
あくまで公開されている経済情報のみからの予測であり、情報の網羅性・正確性を担保した予測ではないこと、ご注意ください。

#### <スコアの変動可能性>

ニュースの自動解析、アナリストの独自調査により一部データを構成しておりますので、時が経ちニュースが多く出るほどより多くのデータがインプットされ、結果としてスコアが変動することがございます。本資料は、表紙記載日付におけるxenoBrain上のデータを基に作成された資料であり、今後更新されることがございますのでご注意ください。



# シミックホールディングス

## 影響シナリオ一覧



## 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

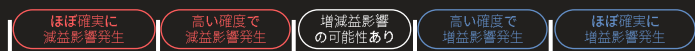
### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

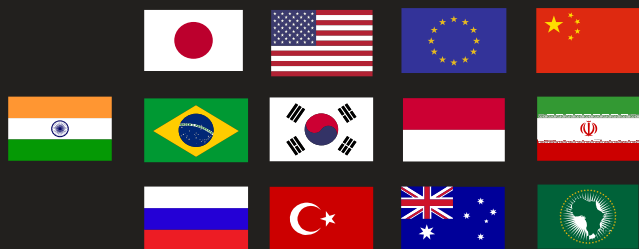
シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	係数	影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
1	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本臨床試験受託需要増加	1	日本医薬品開発支援需要増加				0.22	増収	22.2	中期
2	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本臨床試験受託需要増加						0.22	増収	22.2	中期
3	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本医薬品開発支援需要増加				0.22	増収	22.2	中期
4	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験受託需要増加	1	日本医薬品開発支援需要増加		0.22	増収	22.2	中期
5	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験受託需要増加				0.22	増収	22.2	中期
6	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本臨床試験受託需要増加	0.2	日本医薬品製剤開発製造支援需要増加				0.2	増収	4	中期
7	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	0.2	日本医薬品製剤開発製造支援需要増加				0.2	増収	4	中期
8	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験受託需要増加	0.2	日本医薬品製剤開発製造支援需要増加		0.2	増収	4	中期
9	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	1	米国医薬品開発支援需要増加				0.02	増収	2.4	中期
10	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	1	米国臨床試験受託需要増加	1	米国医薬品開発支援需要増加		0.02	増収	2.4	中期
11	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国臨床試験受託需要増加	1	米国医薬品開発支援需要増加				0.02	増収	2.4	中期
12	韓国新型コロナウイルス感染拡大	1	韓国新薬開発需要増加	1	韓国臨床試験受託需要増加	1	韓国医薬品開発支援需要増加		0.01	増収	1.3	中期
13	韓国新型コロナウイルス感染拡大	1	韓国新薬開発需要増加	1	韓国医薬品開発支援需要増加				0.01	増収	1.3	中期
14	韓国新型コロナウイルス感染拡大	1	韓国臨床試験受託需要増加	1	韓国医薬品開発支援需要増加				0.01	増収	1.3	中期
15	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	1	中国医薬品開発支援需要増加				0.01	増収	1.3	中期

# シミックホールディングス

## 影響シナリオ一覧



## 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

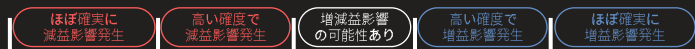
### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank		係数		係数		係数		係数	影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響		
16	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	1	中国臨床試験受託需要増加	1	中国医薬品開発支援需要増加	0.01	増収	1.3	中期
17	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国臨床試験受託需要増加	1	中国医薬品開発支援需要増加			0.01	増収	1.3	中期
18	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	0.2	米国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.02	増収	0.44	中期
19	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	1	米国臨床試験受託需要増加	0.2	米国医薬品製剤開発製造支援需要増加	0.02	増収	0.44	中期
20	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国臨床試験受託需要増加	0.2	米国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.02	増収	0.44	中期
21	韓国新型コロナウイルス感染拡大	1	韓国新薬開発需要増加	1	韓国臨床試験受託需要増加	0.2	韓国医薬品製剤開発製造支援需要増加	0.01	増収	0.24	中期
22	韓国新型コロナウイルス感染拡大	1	韓国新薬開発需要増加	0.2	韓国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.01	増収	0.24	中期
23	韓国新型コロナウイルス感染拡大	1	韓国臨床試験受託需要増加	0.2	韓国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.01	増収	0.24	中期
24	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	1	中国臨床試験受託需要増加	0.2	中国医薬品製剤開発製造支援需要増加	0.01	増収	0.24	中期
25	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	0.2	中国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.01	増収	0.24	中期
26	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国臨床試験受託需要増加	0.2	中国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.01	増収	0.24	中期



# シミックホールディングス

## 影響シナリオ一覧



## 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

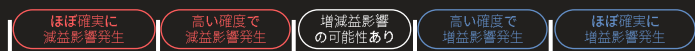
### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



-30 -5 0 5 30

Rank	係数		係数		係数		係数		影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響		
1	米国新型コロナウイルス感染拡大		1 米国現地法人生産減少						0.05	減収	-5 短期

# エリア別 シナリオ一覧

- 日本
- 米国
- 欧州
- 中国
- その他（インド、ブラジル、韓国、インドネシア、イラン、ロシア、トルコ、豪州、アフリカ）



# 影響シナリオ一覧



# 日本新型コロナウイルス感染拡大

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

ほぼ確実に減益影響発生      高い確度で減益影響発生      増減益影響の可能性あり      高い確度で増益影響発生      ほぼ確実に増益影響発生

11

Rank	係数		係数		係数		係数		影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒			
1	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本臨床試験受託需要増加	1	日本医薬品開発支援需要増加			0.22	増収	22.2	中期
2	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本臨床試験受託需要増加					0.22	増収	22.2	中期
3	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本医薬品開発支援需要増加			0.22	増収	22.2	中期
4	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験受託需要増加	1	日本医薬品開発支援需要増加	0.22	増収	22.2	中期
5	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験受託需要増加			0.22	増収	22.2	中期
6	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本臨床試験受託需要増加	0.2	日本医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.2	増収	4	中期
7	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	0.2	日本医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.2	増収	4	中期
8	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本新薬開発需要増加	1	日本臨床試験受託需要増加	0.2	日本医薬品製剤開発製造支援需要増加	0.2	増収	4	中期
総計									増益	123	

# 影響シナリオ一覧



# 米国新型コロナウイルス感染拡大

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

```

graph LR
    A[ほぼ確実に減益影響発生] --> B[高い確度で減益影響発生]
    B --> C[増減益影響の可能性あり]
    C --> D[高い確度で増益影響発生]
    D --> E[ほぼ確実に増益影響発生]
  
```

12

Rank	係数		係数		係数		係数		影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒			
1	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	1	米国医薬品開発支援需要増加			0.02	増収	2.4	中期
2	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	1	米国臨床試験受託需要増加	1	米国医薬品開発支援需要増加	0.02	増収	2.4	中期
3	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国臨床試験受託需要増加	1	米国医薬品開発支援需要増加			0.02	増収	2.4	中期
4	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	0.2	米国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.02	増収	0.44	中期
5	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国新薬開発需要増加	1	米国臨床試験受託需要増加	0.2	米国医薬品製剤開発製造支援需要増加	0.02	増収	0.44	中期
6	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国臨床試験受託需要増加	0.2	米国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.02	増収	0.44	中期
7	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国現地法人生産減少					0.05	減収	-5	短期
総計									増益	3.52	

総計

# シミックホールディングス

## 影響シナリオ一覧



### 欧州新型コロナウイルス感染拡大

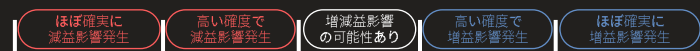
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenobrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



xenoBrainに、本レポート対象企業につながるシナリオがございました。

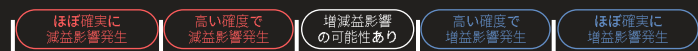
# 影響シナリオ一覧



# 中国新型コロナウイルス感染拡大

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

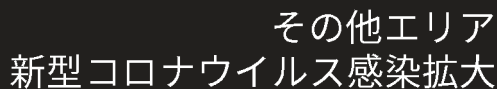
シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	係数		係数		係数		係数		影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響		
1	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	1	中国医薬品開発支援需要増加			0.01	増収	1.3	中期
2	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	1	中国臨床試験受託需要増加	1	中国医薬品開発支援需要増加	0.01	増収	1.3	中期
3	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国臨床試験受託需要増加	1	中国医薬品開発支援需要増加			0.01	増収	1.3	中期
4	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	1	中国臨床試験受託需要増加	0.2	中国医薬品製剤開発製造支援需要増加	0.01	増収	0.24	中期
5	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国新薬開発需要増加	0.2	中国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.01	増収	0.24	中期
6	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国臨床試験受託需要増加	0.2	中国医薬品製剤開発製造支援需要増加			0.01	増収	0.24	中期
総計									増益	4.62	

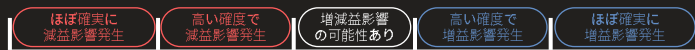


## 影響シナリオ一覧



時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安

[illegible]

# シミックホールディングス サプライチェーン分析

- 仕入先分析サマリー
- 仕入先減益ランキング
- 仕入先増益ランキング
- 得意先分析サマリー
- 得意先減益ランキング
- 得意先増益ランキング

当企業には、仕入先企業に該当するデータがございませんでした。

## サプライチェーン分析

### 得意先企業分析

当企業には、得意先企業に該当するデータがございませんでした。


# シミックホールディングス

## AI決算コメント

2020年09月期 第2四半期

(19/10 - 20/03月)

決算発表日時2020年 05月01日 15:30

AI決算分析サービスをもっと知りたい 

### <AI決算コメントについて>

本コメントは、決算発表後最速数十秒で自動生成されるテキスト形式のレポートであり、その内容を定期的に本レポートに反映しております。  
本レポートでは、営業利益や最終利益の実績値の結果情報だけでなく、その業績変動の背景を独自の自然言語処理技術を使って自動解説として出力しており、瞬時に決算の背景を理解することができます。また、セグメント数値を自動で抽出することにより、その決算の業績変動のドライバーとなったセグメントについてもすぐに確認することが可能です。

19年10月～20年3月期、売上高は、390億円で前年同期比6.3%増収となった。増収は、CDMO事業及びCSO事業の伸長が寄与した。

営業利益は、19.7億円で前年同期比31.6%減益となった。営業減益は、臨床業務における稼働率の低下、不採算プロジェクトの発生等によりCRO事業が減益となったことが影響した。

経常利益は、23.7億円で前年同期比11.0%減益となった。

持分法による投資利益4.21億円の計上はあったが、最終利益は、3.7%減の14.8億円となった。

四半期ベースでは、前年同期比では、売上高は、192億円でy-y横ばい(0.4%減)となった。売上高は、CDMO事業は売上増加も、CRO事業の売上減少が影響し前年同水準となった。

営業利益は、10.5億円でy-y45.3%減益となった。営業減益は、CSO事業が前年同期から増益となったものの、CRO事業、ヘルスケア事業が減益となったことが影響した。

経常利益は、14.6億円でy-y19.1%減益となった。

最終利益は、9.98億円でy-y横ばい(0.2%減)となった。

前四半期比売上高は、192億円でq-q3.2%減収となった。減収は、CDMO事業は売上増加も、CRO事業、IPM事業の売上減少が影響した。

営業利益は、10.5億円でq-q13.4%増益となった。営業増益は、CRO事業が前四半期から減益となったものの、CDMO事業、ヘルスケア事業が増益となったことが寄与した。

経常利益は、14.6億円でq-q59.9%増益となった。

最終利益は、9.98億円でq-q107%増益となった。

会社は20年9月期の業績予想を未定に変更。

自己資本比率は26.9%(19年9月末は27.8%)となった。

EBITDAマージンは10.55%(前年同期は12.95%)となった。

インタレストカバレッジレシオは72.12倍(前年同期は84.76倍)となった。

D/Eレシオは0.99倍(前期末は0.86倍)となった。



## 臨床検査受託5社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい

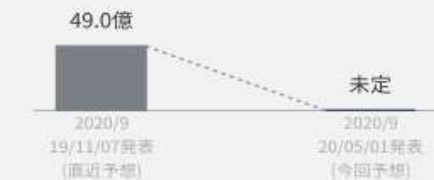


### 予想値分析

#### 進捗率 第2四半期進捗率

連結営業利益  
計画比  
(2020/05/01発表 修正値比較)  
※計画値が未定のため達成率計算なし

#### 営業利益 予想 通期会社予想 未定に修正



通期業績予想達成回数 7/11回  
通期業績予想平均達成率 101.6%  
※過去の第2四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況

#### 配当 予想 中間配当金 計画通り



期末配当予想は未定となった。

### P/L分析

#### 売上高 増収 6.3%増



CDMO事業及びCSO事業の伸長により増収となった。

#### 営業利益 大幅減益 31.6%減



CDMO事業及びCSO事業が改善するも、CRO事業が減益となったこと等により減益となった。

#### 最終利益 最終減益 3.7%減



### 事業別分析

#### 事業別利益 CRO事業 減益



臨床業務における稼働率の低下、不採算プロジェクトの発生等により減益となった。

#### 事業別利益 CSO事業 黒字化



前期に獲得したMR派遣業務の案件が堅調に進捗し、稼働率が高い水準で推移したこと等により増益となった。

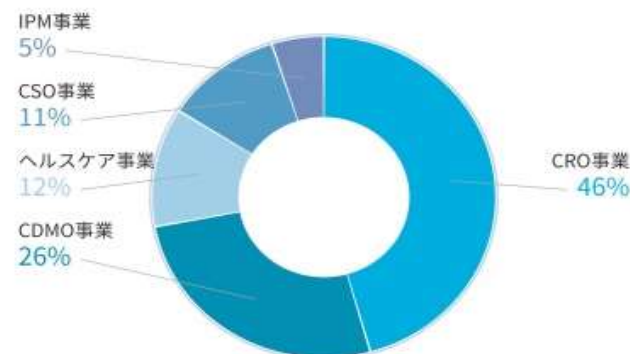
#### 事業別利益 ヘルスケア事業 大幅減益



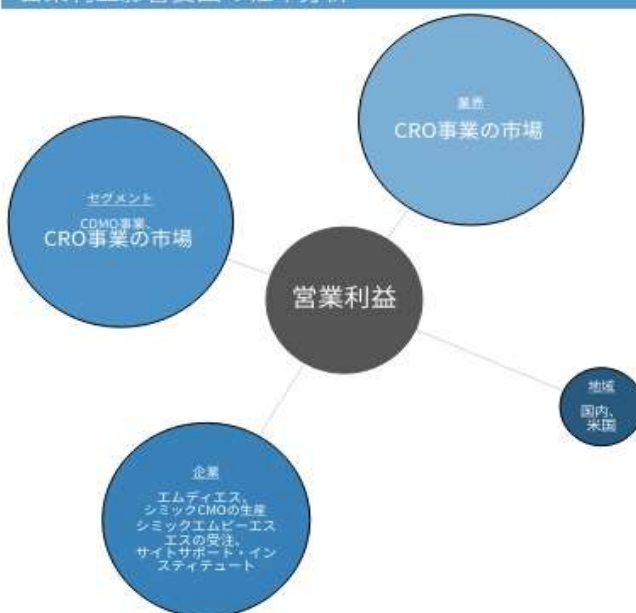
BPO・人材サービスの売上の減少と、新たなヘルスケアビジネス創出のための先行投資を行っていることにより減益となった。

### 事業別売上高構成比

売上高合計 389.6億



### 営業利益影響要因の経年分析





## 臨床検査受託5社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



### 予想値分析

進捗率 計画達成

連結営業利益  
計画比 **100.3%**  
(2020/04/24発表 修正値比較)

営業利益  
予想 会社計画発表なし

配当  
予想 期末配当金 計画通り



次期配当予想 発表なし

### P/L分析

売上高 増収 4.0%増



臨床検査薬事業は売上減少も、受託臨床検査事業、滅菌関連事業の売上増加により増収となった。

営業利益 大幅減益 32.1%減



減価償却費の増加に加え、臨床検査薬事業において日赤事業の契約が終了したことや大口顧客獲得に伴う先行費用が発生したこと等により減益となった。

最終利益 最終赤字転落



### 事業別分析

事業別利益 臨床検査薬事業 大幅減益



事業別利益 受託臨床検査事業 利益横ばい

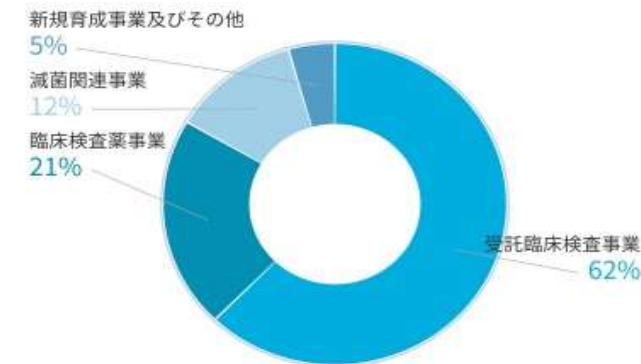


事業別利益 滅菌関連事業 大幅増益



### 事業別売上高構成比

売上高合計 1,887.1億



### 営業利益影響要因の経年分析



## 臨床検査受託5社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい

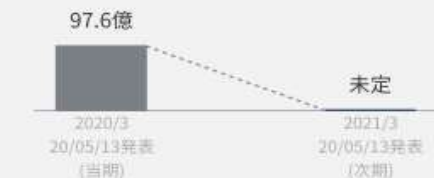


### 予想値分析

進捗率 計画達成

連結営業利益  
計画比 **100.6%**  
(2020/05/08発表 修正値比較)

営業利益  
予想 次期会社予想未定



通期業績予想達成回数 6/11回  
通期業績予想平均達成率 103.2%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況

配当  
予想 期末配当金 計画通り



次期配当予想 発表なし

### P/L分析

売上高 増収 3.1%増



検査事業臨床検査事業、病理学的検査事業、免疫学的検査事業の売上増加により増収となった。

営業利益 減益 6.6%減



最終利益 最終減益 4.1%減



### 事業別分析

事業別売上高 検査事業臨床検査事業 増収



事業別売上高 病理学的検査事業 増収

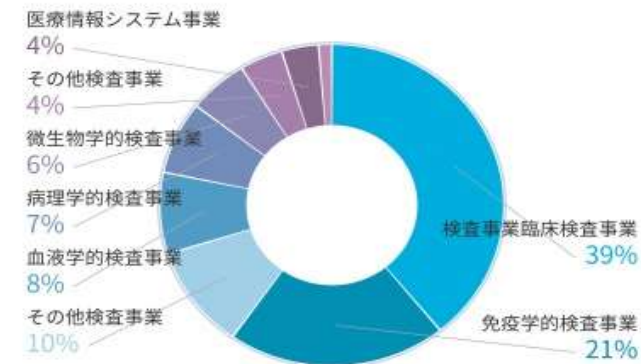


事業別売上高 免疫学的検査事業 増収



### 事業別売上高構成比

売上高合計 1,207.3億



### 営業利益影響要因の経年分析



## 臨床検査受託5社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



### 予想値分析

#### 進捗率 第2四半期進捗率

連結営業利益  
計画比(上限値)  
(2020/05/08発表 修正値比較)

**134.2%**

#### 営業利益 予想 通期会社予想 下方修正



通期業績予想達成回数 9/11回  
通期業績予想平均達成率 105.0%  
※過去の第2四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況

#### 配当 予想 中間配当金 予想下振れ



期末配当予想は未定となった。

### P/L分析

#### 売上高 横ばい 0.5%増



益新事業において中国における薬品管理法改正が影響し、製造ラインを一時的に停止したことによる出荷への影響や、Global Research事業において大型案件が前期終了した影響などがあるが、CSO事業が好調であること等も、全体としておおむね横ばいで推移した。

#### 営業利益 減益 15.6%減



益新事業の製造ライン停止により供給が減少したことや、CRO事業は前期において好採算なモニタリング案件及び大型臨床研究が終了した影響の影響で減益となった。

#### 最終利益 最終減益 7.2%減



### 事業別分析

#### 事業別利益 益新事業 赤字転落



#### 事業別利益 CRO事業 減益



モニタリングにおいては高単価案件が前期終了したこと、前下半期に引合いが低調であったことが当期間に影響したことにより減益となった。

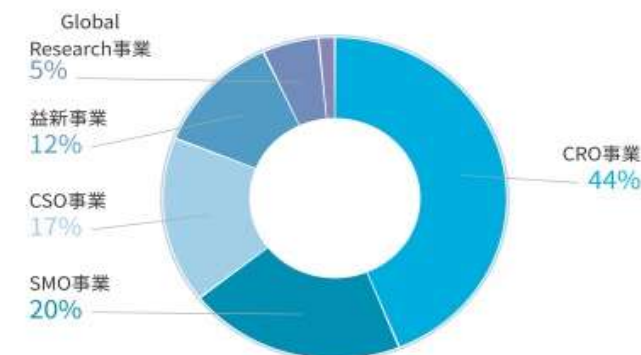
#### 事業別利益 CSO事業 大幅増益



メディカルコンタクトセンター事業を中心に伸長したことにより増収増益となった。

### 事業別売上高構成比

売上高合計 336.6億



### 営業利益影響要因の経年分析





## 臨床検査受託5社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



### 予想値分析

進捗率 計画未達

連結営業利益  
計画比 **98.9%**  
(2020/04/15発表 修正値比較)

営業益  
予想 会社計画発表なし

配当  
予想 期末配当金 計画通り



次期配当予想 発表なし

### P/L分析

売上高 減収 2.2%減



臨床検査事業における火災の影響に加え、期末にかけての新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった。

営業利益 大幅減益 37.1%減



調剤薬局事業は好調だったが、臨床検査事業の不振により減益となった。

最終利益 最終増益 90.4%増



### 事業別分析

事業別利益 臨床検査事業 大幅減益



「MSI検査キット(FALCO)」の販売実績は順調に推移するも、火災の影響に加え、期末にかけての新型コロナウイルスの感染拡大による受診患者数減少等の影響による、受託検体数の大きく減少したためにより減益となった。

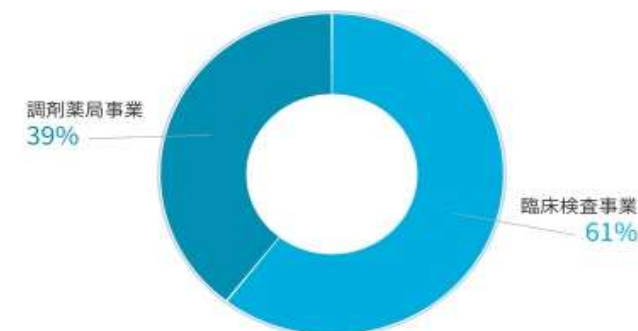
事業別利益 調剤薬局事業 増益



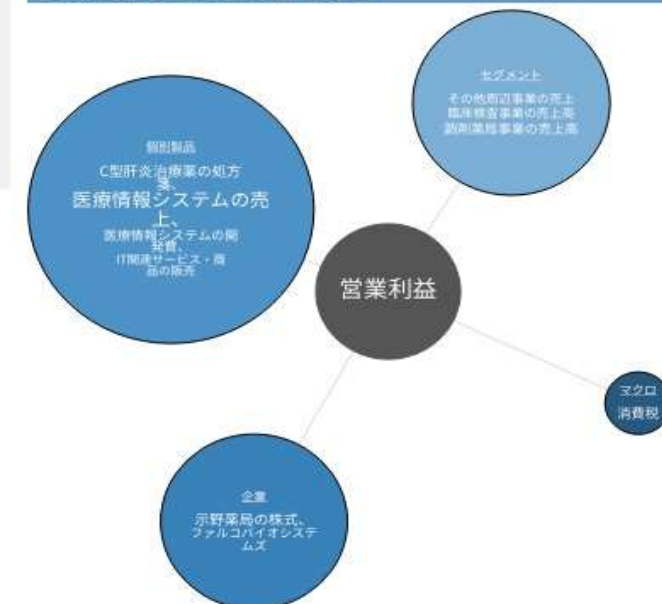
店舗数減少や期末にかけての新型コロナウイルスの感染拡大による受診患者数減少等の影響による処方箋枚数の減少するも、処方箋単価の上昇により増益となった。

### 事業別売上高構成比

売上高合計 431.9億



### 営業利益影響要因の経年分析



# シミックホールディングス

## 業績要因一覧

### <表の見方について>

セグメント及び業績に影響するトピック：開示資料を中心に、様々なデータソースから抽出された本レポート対象企業の業績に影響を及ぼすトピックを、セグメントに分類して列挙しております。

売上高構成比率：セグメント名称と同一行にある比率は、そのセグメントの売上高構成比率を表示しております。各業績に影響するトピックは、セグメント売上高構成比率を基に、主力商品や主要原材料をより高く、非主力商品や非主要原材料をより低くなるよう、xenoBrain上で独自に推定した比率が表示されております。

影響時間軸：業績に影響するトピックに変動があったときに、どのような時間軸で業績に影響するかをxenodata lab社のアナリストが判断しています。短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。

売上高：セグメント売上高及び連結財務諸表上の売上高を表示しております。

出典：業績に影響するトピックを抽出したデータソースを表示しております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響有無：「新型コロナウイルス感染拡大の影響有り」と記載されている場合、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同一行に表示されるトピックが増減（又は発生）し、その結果として当企業の業績に影響を及ぼす可能性があることを意味します。

セグメント及び業績に影響するトピック	売上高構成比率	影響時間軸	売上高(百万円)	出典	新型コロナウイルス感染拡大影響有無
CRO事業	51.5%		38,269	有価証券報告書	
医薬品開発支援需要	51.5%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
医薬品製造コンサルティング需要	51.5%	短期		有価証券報告書	
臨床試験受託需要	51.5%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
CDMO事業	23.2%		17,237	有価証券報告書	
医薬品製剤開発需要	23.2%	短期		有価証券報告書	
医薬品製剤開発製造支援需要	23.2%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
CSO事業	10.7%		7,926	有価証券報告書	
医薬品営業支援需要	10.7%	短期		有価証券報告書	
IPM事業	4.5%		3,367	有価証券報告書	
米国現地法人生産	4.5%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
北米現地法人生産	4.5%	短期		有価証券報告書	

# シミックホールディングス

## 基本情報

企業コード	2309
企業名	シミックホールディングス
業種（東証33業種）	サービス業
業種（xenoBrain）	製薬・臨床試験
代表者	代表取締役CEO 中村 和男
住所	東京都港区芝浦1丁目1番1号
電話番号	03-6779-8000
売上高	74,373百万円
資本金	3,087百万円
取引市場	東証 1 部
URL	<a href="https://www.cmicgroup.com/">https://www.cmicgroup.com/</a>




# 製薬・臨床試験業界

---

## シミックホールディングスが所属する業界全体の分析レポート

xenoBrainでは新型コロナウイルス感染拡大が、所属する業界全体にどのような影響が発生しているのか、また、どのようなシナリオが考えられるかを、総合的に俯瞰できる業界レポートも提供しております。

製薬・臨床試験業界のレポートダウンロードはこちら↓

業界レポート ダウンロード 

[全63業界完全版レポートのダウンロードはこちら >>>](#)



# 本レポート発行企業

株式会社xenodata lab.

---

所在地	〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-29-1 渋谷クロスロードビル5F
設立年月日	2016年2月12日
代表者	代表取締役社長 関 洋二郎
従業員数	25名

## 沿革

2016/08	第一期 MUFG Fintechアクセラレータ <b>グランプリ受賞</b>
2019/03	Series Bラウンド〃 資金調達 <b>6.8億円</b>
2019/4	<b>時事通信社</b> と業務資本提携契約締結
2019/06	<b>ダウ・ジョーンズ社</b> と業務提携強化を発表
2019/11	<b>帝国データバンク</b> との業務提携を発表

株式会社xenodata lab.は、AIにより経済・企業の将来予測をリアルタイムで提供するSaaS型AIサービス『xenoBrain』を運営するスタートアップ企業です。2016年に創業以来、経済予測に特化し自然言語処理や機械学習を中心とした技術で膨大な経済データの解析を行い、主に大手金融機関や事業法人にサービスを提供しております。